

③ ヘリテージに関する活動についてのアンケート（2017年10月集計）

全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会運営委員会

	活動名	活動の概要	活動財源	実施時期
--	-----	-------	------	------

北海道文化遺産活用活性化実行委員会

1	北海道文化遺産活用活性化実行委員会普及啓発事業(大人)	草創期札幌の街づくりと歴史資産を巡るというタイトルの「札幌市内町歩き事業」赤れんが庁舎、開拓使札幌博物館、札幌時計台、創成橋付近の歴史的建造物の巡検と説明	文化庁の補助事業 (約2万円)	平成28年10月1日
2	北海道文化遺産活用活性化実行委員会普及啓発事業(子ども)	寿都町寿都高等学校ボランティア部 古文書調査 寿都町の橋本家の古文書の調査作業を北海道博物館学芸主査の協力で実施する。	文化庁の補助事業 (約9万円)	平成28年12月26日から28日
3	北海道文化遺産活用活性化実行委員会普及啓発事業(大人)	羽幌町郷土資料館(旧裁判所庁舎)の保存の取り組みを支援する事業を実施。前羽幌町長の講演と歴史資産の防災対策についての講演を通して郷土資料館の保存の必要性を普及啓発する。	文化庁の補助事業 (約10万円)	平成29年9月16日から17日

あきたヘリテージマネージャー協議会

1	あきたヘリテージマネージャー協議会設立総会	平成28年度秋田建築士会仙北大会の同日 設立総会、基調講演 「ヘリテージマネージャーに求められるもの」横手市まちづくり推進部歴史まちづくり課 石田正明氏	参加者会費	2016年11月12日
2	横手市内の登録文化財候補建物調査	横手市内の登録文化財候補建物の調査及び書類作成 調査対象物件 5件	横手市文化財保護室からの依頼。(調査契約:3万円/件)	2017年7月から9月

H.I.C ヘリマネいばらき協議会

1	ステップアップセミナー講演会『伝統木造住宅と省エネ基準』	伝統木造住宅と省エネ基準 ～ 省エネ基準の地域型住宅の評価基準を考える ～	HIC協議会予算 (約10万円)	平成29年8月
2	茨城県近代和風建築総合調査業務委託	文化庁の国庫補助事業として、主に明治期から昭和前期までに建築された建造物のうち、伝統的手法・技法や和の意匠を用いて作られた建造物を、県内の文化財保護の観点等により現状把握と基礎資料の作成をする	茨城県委託費 (約210万円)	平成28年度

3	茨城県近代和風建築総合調査報告書増刷および報告・説明会	平成28年度に調査した上記委託事業の報告書を増刷して、その報告会ならびに説明会を実施する。	HIC 協議会予算 (約20万)	平成29年度下半期
---	-----------------------------	---	---------------------	-----------

かながわヘリテージマネージャー協会

1	第4回神奈川県ヘリテージマネージャー大会	テーマ：「つながって、歴史をつなぎ建物をつなごう」 会場：横浜市開港記念会館 内容：【第一部】『パネルディスカッション』……「歴史的建造物保全に取り組む各団体の活動と連携のあり方に関する討論」 【第二部】『講演』……「ヘリテージマネージャーの協働による歴史的建造物の保全活用-NPO 法人神奈川まちづかい塾の場合」	自主財源（会費） 参加費 助成金（約9万円）	2017年2月
2	スキルアップ講座	「建物遺産その活用と展望」（全4回） ■第1回 歴史的建物や街並みを守る理由（座学） ■第2回 地域の建物遺産と活用事例見学等（見学） ■第3-1回 建物遺産の発見と活用提案作成（グループ活動）（演習） ■第3-2回 建物遺産の活用提案発表（発表）	自主財源（会費） 参加費 助成金（約20万円（ただし、第5回HM大会への助成金含む）	2017年9月～12月
3	歴史的建造物の活用に関する調査検討	・歴史的建造物の見学及び改修担当者ヒアリング ・登録文化財の将来的保存利活用に関する所有者意向のヒヤリング等	自主財源（会費）	2016年10月～2017年3月

長野県ヘリテージマネージャー協議会

1	近代和風建築物総合調査	県が実施した明治から戦前に建てられた文化的建造物について、市町村教育委員会から具体的な建築物について報告が無い地域等について改めて調査を実施した。	委託費	2016. 12 から 2017. 3
2	常時微動振動・人力加振実験見学会	文化的建造物について常時微動振動調査と人力による加振実験について見学会を開催した。	参加者負担金	2017. 6

静岡県ヘリテージセンター SHEC

1	花沢の里・歴史的建造物の設計相談等	焼津市花沢地区は、平成26年9月、重要伝統的建造物群保存地区に選定され、花沢保存会として情趣ある町並みを美しく守っていきこうと努めている中で、今後継続的に改修・修繕・修景にかかる町並みの維持保全を保存会がSHECに依頼した。平成29年で2年目。	設計相談は無料。 補助事業採択された時点で、HMと施主が個別に設計・監理契約	平成28年4月15日 花沢の里保存会会長がSHECセンター長に文書により依頼
---	-------------------	--	---	---

2	花沢の里づくりのための防災・観光・生活・景観等に關するまちづくり指針の作成	①全世帯まちづくりアンケートの実施…1世帯3人以上（おとな・こども・高齢者）、年代別・男女別に集計まとめを行う。 ②花沢の里づくり指針の作成…アンケートの整理まとめにより花沢の里の将来像を明らかにし、住民みんなが共有していく。 ③町並み修景事例集の作成…町並みを形成する重要な要素である「下見板張り」と「木製建具」を中心に仕様・寸法・色等を調査し整理する。	「公益信託大成建設自然・歴史環境基金」助成金 50 万円	平成 29 年 4 月～平成 30 年 1 月
3	SHEC によるまちづくり会議	午前：まち歩き…①花沢の里、②浜通り、堀川周辺 午後：講演と意見交換…しみず蔵倶楽部：地域貢献活動助成その後 村田信夫「寺院建築の見かた・調べかたー花沢の里・法華寺についてー」 木村 勉「活かしてまもる歴史的建築・歴史的町並み」 交流会	本会事業予算 12 万円	平成 29 年 3 月 4 日 (毎年 1 回開催)

NPO 法人あいちヘリテージ協議会 (NPO 法人 AHC)

1	登録有形文化財への登録	登録文化財登録に關与 2 か所・・9 件	H28 年度までの登録は、調査事業から発展型の為、ボランティア活動で実施。次年度からは有料をめざしている。	H28/7/15 H29/3/11 答申
2	県内の歴史的建造物が多く残る町並みの調査	県内の歴史的町な町並み調査 1 地域(28 年度は一宮市起宿)の町並みの状況と町中に存在歴史的建造物の現状調査、文献・環境などをまとめ、その地区内での調査発表や、防災講習会を開催した。	文化庁補助事業(文化遺産を生かした地域活性化事業)の一環として実施。(約 85 万円)	H28/10～H29/2
3	研修見学会・勉強会の実施	・西尾市幡豆神社修理現場見学会、国宝金蓮寺見学会 ・構造勉強会の現地研修 ・古民家調査 ・文化財登録申請に向けての勉強会	各回とも参加費を徴収	H28/5 H28/9 H28/10 H29/1

岐阜県建築士会

1	建築士会まちづくり委員会	① 新規の HM 養成のため研修についての検討会開催 ② 現在の HM のスキルアップ講習会の開催について	0 0	平成 29 年 3 月 平成 29 年 3 月
2	自治体からの建物調査依頼	① 古民家の調査 ② 寺院の調査	業務委託 (70 万円) 業務委託 (110 万円)	平成 28 年 10 月 平成 29 年 3 月

みえヘリテージの会

1	平成 28 年度文化芸術振興費補助金(文化遺産総合活性化推進事業)	県内の国登録有形文化財の内、所有者の同意があった建造物についてトレーディングカードを作成。県内北勢地域で41種、約2,700枚/種のカードを作成して来訪者に渡す配布しています。今後平成29・30年で県内の登録有形文化財を網羅する予定です。	文化庁補助金 約71万円 建築士会事業予算	平成28年6月～平成29年3月
2	平成 28 年度文化芸術振興費補助金(文化遺産総合活性化推進事業)	県内で登録有形文化財の保有件数が無い地域及び少ない地域である東紀州地域における国登録有形文化財候補物件の掘り起こし調査事業を実施。12棟+4基の調査及び記録書類を市町教育委員会に提出した。	文化庁補助金 約117万円 建築士会事業予算	平成28年6月～平成29年3月

とやまヘリテージ協議会

1	登録文化財所見作成	2017年4月以前(活動ネットワークが立ち上がったのが2017年4月)から調査をしていた建物2件の所見作成	会費	2017年4月～2017年12月
2	HMステップアップ講習会の実施	2017年度ステップアップ講習として防災対応の研修と建物の調査と保存活用計画に関する研修を行う	文化庁(約90万円) 文化遺産を活かした地域活性化事業	2017年4月～2018年3月

ふくいヘリテージ協議会

1	調査	6件(右近分家、勝山S氏邸、鯖江S氏邸、穴馬民俗館、今庄街並み、今庄大黒屋)	福井ふるさと百景を活かした景観づくり推進事業 (20万円×2年)	適時
2	研修、見学	講演会1回(国京)、見学会4回(豊岡三重の塔、丹巖洞、山里口御門、勝山S氏邸)	福井ふるさと百景、自主財源、特別会費	適時
3	活用支援	解体予定の建物の移築活用希望者を募集し、移築するめどがたった。	なし	2017年7～9月

京都府建築士会ヘリテージマネージャー委員会

1	デジタルマッピングの試行	京都市内2学区の歴史的建造物を調査し、デジタルマップに落とす作業を行いながら、災害を想定した使い易さ、活かし方を模索している。	個人負担	2016年10月～
2	第36回近畿建築祭・ヘリテージマネージャーセッション	近畿建築士会による恒例行事を京都が主催した。KOMOと協働で「近畿の災害に対する歴史的建物保存の取組みを考える」をテーマに、講演・活動報告・意見交換・見学会を行った。	京都府建築士会が負担	2016年12月3日

3	第5回全国ヘリテージマネージャー大会	12/7～12/9の京都大会に向けて、総会・セッション・エクスカージョンの企画・準備などを行っている。	同上	2016年10月～2017年12月
---	--------------------	---	----	-------------------

大阪府ヘリテージマネージャー協議会

1	大阪府ヘリテージマネージャー育成講座	大阪府のさらなる歴史文化遺産を発見し、既に指定されている文化財建造物や登録文化財等の活用と保存を推進し、まちづくりに活かす能力を持った人材“ヘリテージマネージャー”を育成することを目的に行う。	受講料と文化庁助成金(約140万円 文化遺産を活かした地域活性化事業)	2016年8月27日～2017年1月28日(全10日間)
2	大阪府ヘリテージマネージャー・ステップアップ講座	ヘリテージマネージャーを育成することによって、さらなる文化財建造物の発見及びすでに指定されている文化財建造物や登録文化財等の保存と活用を推進する人材を育てる。	受講料と文化庁助成金(育成事業を含む文化遺産を活かした地域活性化事業)	第1回: 2016年11月23日 第2回: 2017年2月11日
3	大阪三大城下町めぐりMAPの発行	大阪府内の歴史文化遺産に興味を拓けてもらうことを目的に、3つの城下町(大阪市・高槻市・岸和田市)を一緒に紹介するマップを作成。マップの配布先は大阪府建築士会会員をはじめ、大阪観光局、岸和田市と高槻市のまちづくり団体、大阪府教育庁、大阪市経済戦略局観光課、岸和田市都市計画課、高槻市文化財課など。発行部数10,000部。	文化庁助成金(約75万円 文化遺産を活かした地域活性化事業)	2016年12月

ひょうごヘリテージ機構 H²O

1	第15回ヘリテージマネージャー大会	「地域の文化財の再発見と活用の将来像」をテーマに、丹波市で開催。午後のフォーラムでは、基調講演のあと、NPO等の代表や異分野の人を交えてパネルディスカッションを行う。午前中はまち歩き。	文化庁(約40万円)文化遺産を活かした地域活性化事業	2017年10月28日
2	「ひょうごヘリテージ年報第14集」の発刊	2016年の1年間の活動をまとめる。内容は、ニュース編、アクティビティ編、資料編の3編構成。特筆すべきニュースや登録文化財調査の実例、各種イベント報告、県下各地区の活動報告などを掲載。	活動支援金(寄付)	2017年3月
3	アドバンス講習会の実施とHMC検討会の開催 第14期HM養成講習会	2017年度に予定しているヘリテージコーディネーター養成の試行プログラムとして、特にヘリテージの活用による事業展開を主眼としたアドバンス講習会を7回実施。第14期講習会カリキュラムの検討会を6回開催。	文化庁(約50万円)文化遺産を活かした地域活性化事業	2016年7月～2017年3月～ 2018年2月

奈良ヘリテージ支援センター

1	奈良市内における近世近代の歴史的建造物の掘り起こしによる地域活性化事業	奈良市の旧集落地区には、地域特有の建築文化が見られ、質の高い民家が残っている。開発が進み減少しつつある民家の調査を現段階で実施し、地域の固有の景観を形成する民家等地域に根ざした歴史的建造物の掘り起こし調査を実施する。帯解地区	文化芸術振興費補助金(文化遺産総合活用推進事業)	平成28年4月～平成29年3月
2	南都銀行の事業用町家利活用融資支援	奈良県内に所在する歴史的建築物が融資対象であり、歴史的建築物がどうかについて、「奈良ヘリテージ支援センター」が意見書を提出することが条件となる。	1件54,000円	平成28年9月～
3	スキルアップ講習会	平成22年度～25年度までに受講したヘリテージマネージャー103名のスキルアップのための講習会を実施	文化芸術振興費補助金(文化遺産総合活用推進事業)	平成28年10月～平成29年3月

和歌山ヘリテージネットワーク許議会

1	寂光院移築先探し運動	昭和初期に建築された天台宗の山門・中門・庫裏が本堂維持費に当てるため敷地の一部を売却予定である。撤去される建物の移築先がないか情報発信を行っている	無し	平成28年5月～
2	湯浅町伝建地区空家活用事業への参加募集	湯浅町からの委託事業(加納家空家改修事業・甚風呂借家改修事業・シラス倉庫観光情報センター化事業) 和歌山県建築士会で受託 HMに希望者を募り3チームで担当	委託費の10%を和歌山県建築士会に納める	平成28年度・29年度
3	加太弾廠庫・便所復原事業への参加募集	和歌山市からの委託事業 和歌山県建築士会で受託 HMに希望者を募り1チームで担当	委託費の10%を和歌山県建築士会に納める	29年度

岡山ヘリテージマネージャー機構

1	【曹源寺実測調査】	旧備前岡山藩主であった池田家の菩提寺である曹源寺に残る建物について実測調査を行い、記録として後世に残すもの。	自費(印刷に関しては(財)福武教育文化振興財団の助成)	2016年5月～2017年2月
2	【「目木構」建築群調査記録業務】	真庭市指定重要文化財である豪農・福島氏の居館跡に残る建築群の現状を調査についてヘリテージマネージャーに協力依頼があったもの。	真庭市からの委託料(約280万円)	2016年10月～2017年3月

3	【国立療養所長島愛生園建造物の文化財登録協力業務】	国立療養所長島愛生園療養所を世界文化遺産に登録すべく活動がなされている中で、まずは国の登録有形文化財への登録を目指すことから施設内の建造物の登録申請にヘリテージマネージャーとして協力するもの。	長島愛生園等に負担を要請中(約70万円)	2017年2月～続行中
---	---------------------------	--	----------------------	-------------

広島県ヘリテージ協議会

1	湯ノ山温泉旧湯治場保存修理事業	有形民俗文化財でもある湯治場の保存修理(調査・修復設計・工事・工事監理)事業を実施	公共・民間団体の補助金及び発注者資金	H25年度～H28年度
2	東城ヤマモトロックマシン建物群(旧自治寮)の保存・修復・活用活動等	現在も稼働している民間工場敷地内の旧自治寮等建物群の保存・修復・活用の継続取組及び建物が立地している東城町の街並み整備に係るガイドラインの作成等の活動。建物群については、一昨年度、国登録有形文化財に登録。	各種団体助成金	H24年度～現在
3	呉YWCAの建物保存・活用に向けた取組	建物所有者において建物維持保全が困難との課題が噴出したことをきっかけに、保存・活用に向けての模索を開始。昨年6月には、「国際なかなか遺産推進委員会」から「なかなか遺産第3号」の認定を得ている。	建物所有者の資金	H26年度～現在

徳島文化財マイスター連絡協議会

1	平成29年度全体会記念講演会	毎年、全体会(総会)とともに記念講演会を開催。今回は、後藤治先生「古民家棟の歴史的建造物の活用とその課題解決に向けて」の講演。公演後、講師を交えての懇親会を開催。	会費	H29.6.17
2	保存修理研修会	毎年、保存修理の技術研修会を開催。今回は、「曳家及び沈下修正」 曳家岡本/岡本直也氏による研修講演会を行った。	会費	H29.4.22
3	四国霊場5番札所 地藏寺調査・阿波文化遺産探検隊阿波のくらしを巡るみんなの遠足	札所寺院建造物調査 昨年県央エリアについて、県西の文化財建造物やまちなみを家族で参加するまち歩きの企画運営を行った。	県教育委員会 委託(約125万円)	H29.2月 H28.11.12

(公社)高知県建築士会 ヘリテージ学団 あっちこうち

1	室戸市吉良川町重要伝統的建造物群保存地区見直し調査	室戸市からの調査業務を受託し、事業部会を中心に会員がプロジェクトチームを組織して地区内の悉皆調査や、デザイン調査、全戸アンケート等の業務を行っている。	受託事業 H28 約300万円 H29 約440万円	H28、29年
---	---------------------------	---	----------------------------------	---------

2	あっちこうちのホームページやSNSの製作、更新による広報活動	広報部会が中心となって、ホームページ (https://attikochi.jimdo.com/) の製作、SNS (https://ja-jp.facebook.com/heritageattikochi/) の更新等により広報活動を行っている。	なし	H28、29年
3	県内幡多地域との交流会	研修部会が中心となって、県西部の幡多地域の伝統的建物の見学会を兼ねた交流会を実施した。その結果、同地域からの受講者が増え、活動の拡大につながっている。	なし	

福岡ヘリテージマネージャー会議

1	歴史的建造物緊急被災調査 (日本建築学会九州支部歴史意匠委員会の協力要請)	益城周辺の悉皆調査 25棟	なし	2016年5月11・12日
2	熊本地震被災歴史的建造物調査 (九州ブロック会)	1次調査 337棟の内55棟を担当	福岡士会 (連合会より助成 約140,000円)	2016年5月20・21・ 22日
3	文化財ドクター派遣事業	1次調査 熊本県222棟、大分県35棟を担当 2次調査 熊本県14棟を担当 3次調査 熊本県 所有者の意向調査・概算算出 実施中	文化庁より 1次 93,600円 2次 140,000円 交通費は不明	2016年6月～現在
4	修復現場見学会	三柱神社・御花(柳川市)	福岡士会	2017年3月25日

長崎ヘリテージマネージャー連絡協議会

1	第2期HM養成講習会およびアドバンス講習会の実施	第2期HM養成講習会およびアドバンス講習会を実施した。HM養成講習会参加25名。アドバンス講習会参加16名	受講料および建築士会予算による。(約50万円)	2017年1月28日～7月23日
2	「JIA文化財修復塾」現地講習の開催	JIA九州支部より依頼を受け、長崎市南山手地区において文化財修復見学、地域の概要講義、指定文化財視察を含む現地講習を行った。HM第2期講習会の欠席者補講としても認定した。	JIA九州支部が費用を全額負担。(約2万円)	2017年3月25日
3	長屋門復元計画の受託とワークショップ開催	重要伝建地区である雲仙市神代小路地区において、長屋門の復元計画を雲仙市より建築士会が受託した。地元HMを中心に計画を進めるとともに、県下HM対象のワークショップを開催して、復元方法の協議を行い情報を共有している。	雲仙市よりの受託費用による。(約50万円)	2017年7月10日～ 2018年3月23日

熊本ヘリテージマネージャー会議

1	熊本地震文化財ドクター事業	文化庁熊本地震災害復旧支援事業。被災歴史的建造物の被災状況調査と復旧方針の助言を行う。士会連合会が事務局となり、九州ブロック各県ヘリテージマネージャーが参加。	文化庁委託費	平成 28 年度
---	---------------	---	--------	----------

大分ヘリテージマネージャーネットワーク

1	熊本地震で被災した歴史的建造物の復旧調査支援活動	九州各県建築士会の連携協定に基づく被災建築物の復旧調査活動及び文化庁補助事業の文化財ドクター派遣事業に基づく熊本大分地域での活動	国補助金 大分士会公益事業活動費（約 20 万）	平成 28 年 4 月～ 平成 28 年 9 月
2	杵築市旧野上邸既存建造物調査設計報告	平成 27 年の大分県杵築市伝統的建造物調査においてリストアップされた旧野上邸の保存と活用の可能性を検討するために現況調査及び耐震改修の可能性等について杵築市から調査委託を受けて実施した。	杵築市補助金 大分士会公益事業活動費（約 250 万）	平成 28 年 7 月～ 平成 29 年 2 月

古材文化の会 伝統建築保存・活用マネージャー会（略称：KOMO）

1	文マネ講座サポート	京都市文化財マネージャー育成講座（建造物）の講座運営サポート。講座当日に司会や受付けを担当し、課題などについて受講者の相談対応も行う。	京都市文化財マネージャー育成実行委員会	H29. 1～（第 9 期について）
2	熊本震災復興視察	8 月 30、31 日に 4 名が熊本震災の復興状況の視察と復興活動をされている方々にヒアリングを行い、復興の課題についてまとめた。（10/29 に報告会開催予定）	古材文化の会会員からの募金	H29. 8. 30～
3	京都を彩る建物や庭園認定調査	京都市の「京都を彩る建物や庭園」制度における認定にかかる調査と報告書作成。京都市内にある歴史的建造物の調査と報告書作成をチームで行った。	京都市の委託調査	H29. 5～（今年度について）